

第1回「日本翻訳大賞」受賞作

とびきり面白い韓国現代小説

パク・ミンギョ

「カステラ」

ヒョン・ジェフン 斎藤真理子〔訳〕

隣の国にこんなに愉快で
楽しい小説があった。

洒脱な文体とスピード感あふれるテンポ
で読者を魅了する、ユーモア満載の2000
年代韓国最高の小説家による傑作短編集。



【日本翻訳大賞】

日本に翻訳者を顕彰する賞がないことから、著名翻訳家が発案し、創設された、日本初の翻訳賞。スポンサーは存在せず、賛同者の資金協力によって運営費を集める。その第1回目の大賞が4月13日に発表された。選考委員は発案者の翻訳家自身である。

【選考委員は以下の5名の方々(五十音順・敬称略)】

金原瑞人・岸本佐知子・柴田元幸・西崎憲・松永美穂

パク・ミンギョ◆1968年生まれ、大学卒業後、様々な職業を経て作家に転身する。2003年、『地球英雄伝説』で文学トンネ新人作家賞、続いて『三美スーパースターズの最後のファンクラブ』でハンギョレ文学賞を同時に受賞し、文壇に彗星のごとく現われて一躍注目を浴びるようになる。2010年『朝の門』で李箱(イ・サン)文学賞(日本の芥川賞に対照される、本書に特別収録)を受賞するなど、韓国の現代文学を語る上で欠かすことのできない人気作家となる。

図書出版 **クレイン** <http://cranebook.net>

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-32-9 TEL 0422-28-7780 FAX 0422-28-7781

貴店名(番線印)	図書出版クレイン ISBN978-4-906681-39-6 C0097	
	冊	四六判 336頁 本体 1700円 パク・ミンギョ「カステラ」 ヒョン・ジェフン 斎藤真理子訳